

陸軍残虐物語 (1963)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 100分
初公開日 1963/06/14
公開情報 東映

【解説】

棚田吾郎のオリジナル脚本を、本作がデビュー作となる佐藤純弥が監督。軍隊という組織の中で人が狂気に蝕まれていく悲劇を描く問題作。西村晃が文字通り鬼軍曹役を熱演している。

陸軍師団の兵舎で、亀岡軍曹の刺殺体が発見される。遺体は糞溜めに頭を突っ込む状態で見つかった。犯人は犬丸二等兵と鈴木一等兵の二名。犬丸は真面目だが何をやっても鈍であり、軍紀に厳しい亀岡軍曹から激しいリンチを受け続けていた。矢崎二等兵は亀岡に取り入り幹部になろうともくろんでいたが、犬丸の饅頭を盗んでいるところを鈴木に見つかってしまう。矢崎は鈴木の手銃の部品を便所へ捨て去り、自分の指を切断して除隊しようとする。犬丸と鈴木は便所の中に潜り込み部品を発見。やがて犬丸の妻ウメが面会に来るが、亀岡は彼女を強姦してしまう。

【クレジット】

監督	佐藤純弥	
企画	吉野誠一 矢部恒	
脚本	棚田吾郎	
撮影	仲沢半次郎	
美術	近藤照男	
編集	長沢嘉樹	
音楽	佐藤勝	
助監督	降旗康男	
出演	三国連太郎	犬丸弥七
	中村賀津雄	鈴木直吉
	江原真二郎	矢崎忠義
	西村晃	亀岡善治
	岩崎加根子	犬丸の妻 ウメ
	大村文武	宮島見習士官
	加藤嘉	犬丸の父 清作
	中山昭二	品田大尉
	沢村貞子	犬丸の母 トキ
	今井健二	大谷伍長
	織本順吉	臼杵准尉
	南道郎	押川
	亀石征一郎	土屋中尉
	奈良あけみ	品田理枝

玉川伊佐男	中原曹長
岡本四郎	香取
安藤三男	塩沢
菅沼正	週番司令